

県立美術館へ高まる期待

県立美術館への収蔵品第一号として、熊本ゆかりの洋画家、故海老原喜之助画伯の油絵三点とデッサン百七十五点が決まり、さる一月十九日沢田知事と幸子夫人との間で「賃借ならびに贈与契約」が結ばれました。

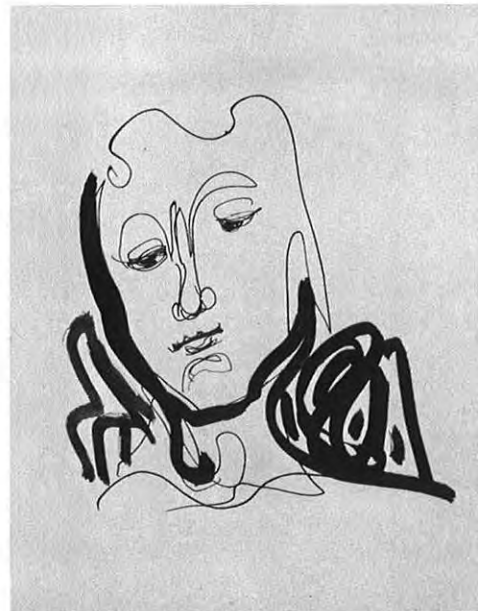
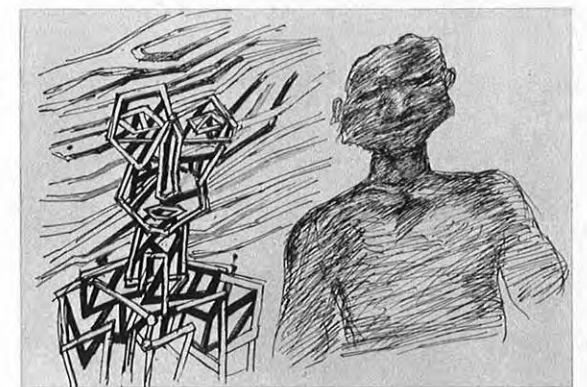
油絵三点は、代表的大作「群馬出動(二百号)」と「鷹狩り(五十号)」、「阿蘇(二十五号)」。デッサンは県内各地を描いた「一週一景」や二十八年の水害のスケッチなど画伯が戦後十六年間にわたって在熊した頃に描かれたものばかりです。

これで、ユニークな地方美術館への足がかりができたわけで、今後「みんなの美術館」としての一層の盛り上がりが期待されます。なお、美術館はことし七月に着工し、五十年三月開館の予定です。



▲目録とデッサン175点が海老原夫人より沢田知事へ

▼熊本時代に描かれたデッサン(今回寄贈されたものの一部)



昨年からスタートした美しい熊本づくり運動の一環として、熊本駅から健軍までの十二区をシンボルゾーンとする美化計画が進められています。

まもなく、現在の葉ぼたんからデージー、パンジー(ひな菊、三色すみれ)に植えかえられますが、二つともかれんで傷つきやすい花です。あなたの店や事務所、家の前の花壇に水をやるなどちょっとした心遣いをしてやって下さい。草花たちもきつすがすがしい美しさを見せてくれるはずですよ。

また、県下全域にわたって、引き続き清掃浄化、花いっぱい運動、緑化運動などが繰ひろげられます。積極的に参加してみんなで美しい住みよい郷土をつくりたいものです。



▶葉ぼたんの植付けは年末年始のあわただしさの中に「一服の清涼剤」として好評を得ました(熊本市通り町筋で)

みんなで町をきれいに